

**事業所における自己評価結果
(公表)**

公表: 令和 6年 4月 1日

事業所名: Mirappi

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・安全に活動できるスペースを確保し、職員間で活動内容に合わせて部屋を変える等の工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切である	○		・必要な人員配置を行っております。 ・今後も専門性維持、向上に努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○	○	・一人ひとりの特性に配慮した環境設定を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎日の清掃、消毒等清潔な環境保持に気をつけています。活動内容に合わせて部屋を変える等安心、安全な環境づくりに努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・それぞれの職種、専門性を生かして多角度から改善策を出し合い、全職員が積極的に参画できるようにしています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○	○	・保護者アンケートの保護者様のご意向及び、日頃から頂戴するご意見を職員間で共有及び検討の上、業務改善につなげています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○	○	・自己評価を行い、ホームページに公開しています。またご意見をもとに会議を実施し業務改善につなげていきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・第三者による外部評価は実施していないため、今後検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・事業所内研修の実施及び外部研修に参加し、専門知識や資質向上に努めています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・契約時アセスメント、定期的なモニタリングや毎日の支援記録をもとに個別支援会議を行い、課題を整理し支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・標準化されたアセスメントツールを使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・相談支援事業所によるサービス等利用計画書、また事業所によるアセスメント等をもとに、利用者様に必要な項目の選択、利用者様に応じた目標を立案し、計画書を作成しています。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・職員一同共通理解のもと、支援に取り組んでおります。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・個々に応じた課題設定が提供できるよう、日々のフィードバックや話し合いを職員全員で行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・ひとりひとりに合わせたプログラムを設定し、状況や状態に合わせて変化や修正を取り入れながら設定しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・個別支援計画書にはそれぞれニーズに合わせて、個別活動・集団活動の両方の支援内容を取り入れるようにしています。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・支援前後にミーティングを行い、支援内容や送迎や役割確認を行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・支援終了後にその日の支援内容の振り返りを行い、情報の共有を行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々の支援記録で活動の記録を入力し、情報の共有と支援内容の検討を行っています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・6か月に一度のモニタリング期間に合わせて会議を行い計画書の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	○	・担当者会議は開催されていませんが、相談支援事業所の担当相談員と電話または来所により、随時連携しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	○	・関係機関と連携することで療育の質向上に随時努めています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・現在該当者はいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・現在該当者はいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	○	・保護者様依頼のもと、送迎時に保育所や認定こども園との情報共有を図っています。また保育所等、担当保育教諭による支援見学も随時行っております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	○	・就学前に引継ぎシートの記入を行っております。見学や情報共有はいつでも可能です。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	○	・利用者様に応じて、各事業所などに報告、相談しに行ったり、他の事業所への見学や研修に参加しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	・感染防止、個人情報のため現在は交流する場を設けていませんが、外出支援の際に交流することはあります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	・機会があれば参加したいと思っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎時に家庭及び事業所での利用者様の状況を保護者様と情報共有を行っています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	○	・ペアレントトレーニング等、保護者様向けの講習は現在行っておりませんが、必要に応じて個別に支援する体制をとっています。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に重要事項説明書を用いて行っています。また不明点があれば随時職員が説明するようにしています。	

33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・支援内容の説明、6か月に一度を目安にモニタリングを行い、支援内容の同意を得ています。
----	--	---	--	---

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・希望に応じて随時事業所内相談支援を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・現在は保護者会は開催していませんが、保護者参加のイベントも計画していきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・必要に応じて連絡事項等やイベント情報等公式アプリにて発信しております。また今後ホームページ内でご利用者様のみ閲覧できるよう活動の様子を発信していく予定です。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人名が記載されている書類については鍵付きの書庫に保管しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・障害特性に応じたコミュニケーション方法を取り入れています。また保護者様へは電話連絡や連絡ツールアプリを使用しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・感染症防止や個人情報等により、現在は積極的な交流の場を設けておりません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・各種マニュアルを策定しています。また周知につまましては日々改善につとめます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・定期的に避難訓練、通報訓練を実施しています。また訓練実施後に評価反省を行い、次回訓練への改善につなげています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・契約時に確認しています。また必要に応じて適宜保護者様に確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・契約時にアレルギーの状況を確認しています。また、対応が必要になった時には医師と連携していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書を作成し、事例内容及び事実確認と共有、今後の対応を協議し事故防止に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・外部研修参加のほか、事業所内研修も行っております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・やむを得ず身体拘束を行うことが想定される場合、保護者様に説明の上、個別支援計画書に記載することとしています。